

令和元年度第2回(第188回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 令和元年5月28日午前9時30分
2. 開催場所 隠岐の島町教育委員会 会議室
3. 出席委員
教育長 村尾 秀信
教育委員 野津 幸恵
教育委員 嶽野 慶子
教育委員 山下 豊範
教育委員 大津 義文
4. 欠席委員
5. その他の出席者
総務学校教育課長 池田 茂良
社会教育課長 吉田 隆
中央公民館長 高梨 勇光
総務学校教育課長補佐 村上 静夫
6. 開会宣言 事務局職員が出席者の確認をした後、教育長は開会を宣言した。
7. 教育長の報告 教育長は、前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。
－報告要旨－
 - 川崎市で起こった登校中の児童の殺傷事件について、登下校の子供たちをどのように守っていくかが今後我々の課題であり、学校・地域社会・教育委員会が連携を深めて取り組んでいかなければならないと考えている。
 - 市町村教育長会議の「教職員の人事権をめぐる問題」について、3回の小委員会、全体会の結果、“現時点の状況において実現することは、現行制度の下では難しい”という県教委の見解を報告した。
 - 教職員の服務規律の確保について報告した。
 - 他の報告は書面にて行った。
－質疑応答－
なし
8. 議 事
【議第1号】 隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
 - 「隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」、事務局職員の説明の後、審議した。
－説明要旨－
(総務学校教育課長) 小中学校のPTA会長が4月下旬に変更となったため、5月1日付で委員に委嘱した。任期は前任者の残任期間の令和2年4月30日までである。
－質疑応答－
なし
－審議結果－

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について原案のとおり承認した。

【議第2号】 第2次隠岐の島町子ども読書活動推進計画の策定について

○ 「第2次隠岐の島町子ども読書活動推進計画の策定について」、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

(社会教育課長) 第2次子ども読書活動推進計画(案)について、パブリックコメントを踏まえて策定委員会で修正し、計画としたいので審議を求める。

－ 質疑応答 －

(山下教育委員) 本を読むことが読書なのはもちろんのことではあるが、タブレットやスマートフォンで雑誌や本を読む頻度はこれから多くなってくると思われる。なぜこの計画には挙がっていないのか。

(社会教育課長) 今後はタブレットによる利用も増えてくるとわれ、策定委員会の中でも取り上げられた。タブレットなどに慣れた子どもたちは、紙の冊子を配られた時に何行目に書いてあるとの説明をしても、本に慣れていないため苦手になっている。時代の流れでタブレットなどの利用も進めなければならぬが、今後も紙ベースの本がなくなるとは考えられないことから、読む力とか考える力とかを養うべきではないかという発表があった。紙ベースの本というものを大事にしたいこと、また、まだ文字が読めない子供たちへの読み聞かせも大事な事なので、家庭教育であるとか、保育所の幼児教育の中でも読み聞かせもしっかりやっていきたい。

(山下教育委員) 家庭での読み聞かせや教科書も、今後タブレットになっていくのではないだろうか。この計画が今の時代に合っているのかなという疑問が少し残る。タブレット等の記載があってもいいのではないかと思う。

(社会教育課長) 「ブックスタート」という事業を行っており、三歳児検診などに来られたお母さん方に絵本をプレゼントしている。これがきっかけで読み聞かせを始めたというアンケート結果も出てきている。タブレットの画面でもきれいな絵も見られるかもしれないが、絵本のきれいさとか親と子どもさんとが共感する事も大事だという意見もあった。

(野津教育委員) タブレットでの読み聞かせやタブレットで本を読むという時代は来るであろうが、今のところそこまでのことは考えてなかったが、これからはこれについても考えなければならぬと感じた。5年計画なので、今後時代の流れも受け止めながら、修正していくことが大事だと思う。

この活動推進計画は、現状を把握し、今の段階でどうしたらいいか、課題解決に結びつく計画ができていると思う。30年前から各学校で始まった読み聞かせで、子供たちが本に触れる機会が増えたと思っている。子ども読書をより良いものにしていくために、本に触れる機会を増やすことが大事だと思う。本に触れたときに今までとは違うものが見えたりするので、どのような場面で機会を増やしていくかが課題になっている。家庭でというか家読という言葉で言われているが、放課後児童クラブとか公民館とかしっかり子どもたちに本に触れさせる場所を開拓していくことにも力を入れてやってもらえばいいと思っている。計画の基本4つの柱があるが、計画の目標のところでは7項目になっている。柱と目標の関連性をはっきりしながら取り組んでいければよいと思う。

(教育長) 野津委員は計画の推進をどう進めていくかという提案だと思われるが、策定委員会の中で議論されたのではないか

(社会教育課長) 計画を立てるのが目標ではなく、これをどうやっていくかが大事で、その部署でそれぞれ頑張っていくという意見が出た。目標や検証体制をしっかり頑張っていこうというものだと思う。現状

の課題は何かを出し、基本計画の柱を作った。第2章ではそれぞれの環境に応じて、家庭、保育所、学校が方向性と施策をそれぞれの環境ごとに作った。数値目標が掲げられるものを目標とした。計画の検証は、年度ごとにそれぞれの部署で行うことにした。最終年度にはこれを取りまとめて、次の5年の計画につなげていくことにし、そして新たな策定委員会を立ち上げていくという流れで今回の計画を策定した。

(教育長) 山下委員からあった読書活動とツールに関わる関連についても策定委員会の中では議論してしたが、現状や今後を考えると今回は言及することは差し控えた。このことについては、今後の課題と考えている。

(山下教育委員) 了解した。

(大津教育委員) 子どもというのが小学校までと思っていたが、定義が18歳以下となっている。中高生向けの図書館通信が配慮されているのが理解できた。図書館通信「プレジャー」はどういうものか

(社会教育課長) 国、県の指針でも子どもの定義があるのでそれに沿っている。「プレジャー」は、今も発行しており、今後も続けていきたい。バックナンバーが図書館に保管されている。

(嶽野教育委員) 地域での読書環境づくりとあるが、地区の公民館等の活用で、以前自治会長さんに、プロによる子供の絵本の大人向け読み聞かせを行った。参加者は少なかったが、終わった後の感動でほんわかという心が洗われたという経験がある。子ども読書を進めるには大人に伝えることで子ども読書が広がるのではないかと思う。

(社会教育課長) 読み聞かせボランティアが増えていないこともあって、応援団を増やしたいと考えている。嶽野委員の言われたような研修会を行うことで本はすごいという事に気づく機会があればボランティア組織の育成にもつながると思う。

－審議結果－

- 審議の後、全員の挙手により議第2号について原案のとおり議決した。

【議第2号】 令和元年度教育行政の方針について

- 「令和元年度教育行政の方針について」について、事務局職員の説明の後、審議した。

－説明要旨－

- 該当する部分について、総務学校教育課長、社会教育課長、中央公民館長より説明した。

－質疑応答－

なし

－審議結果－

- 審議の後、全員の挙手により議第3号について原案のとおり議決した。

9. そ の 他

【令和元年度第3回(令和元年6月)教育委員会の会議の開催について】

- 令和元年度第3回、来月6月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなく、6月26日水曜日午前9時30分に北小学校会議室で開催することとした。
- 令和元年度島根県市町村教育委員会連合会・第1回理事会、総会及び研修会の開催については、7月17日、18日に参加することとした。

【議事録の確認について】

○ 令和元年度第1回(平成31年4月)教育委員会の会議の会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉会宣言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉会日時 令和元年5月28日午前11時26分

12. 会議録作成者 総務係 村上 静夫

署名日 令和元年6月26日

隠岐の島町教育委員会 教育長 村尾秀信